

いま新富町のこの人が気になる

SHINTOMI-JIN

#011 今月の新富人

インタビュー：二川智南美

宮崎日日新聞
新富支局

宮崎日日新聞社新富支局長 林慎次さん

1980年、日向市生まれ。2003年に宮崎日日新聞社に入社、2019年より新富支局長となり、新富町に単身赴任中。釣りや山登り、キャンプ、トレイルランニングなどアウトドアな趣味が好きで、コースの全長が約100km超え、累積標高約6000mにもなる「阿蘇ラウンドトレイル」を27時間で完走したことがある。

「基本中の基本ですが、内容に誤りのない記事にすることを心がけています。間違えないことが、新聞の信頼性につながりますから。と言いつつ、新富支局に来て1本目の原稿で、訂正の記事を出してしまいましたけど……（苦笑）。誰が読んでもわかりやすい文章にするのは大変であり、おもしろいところですね。取材を通して、感動が生まれる瞬間に立ち会えたり、すごいと思える人に出会えたりするのは、記者の特権だと思います」

いつ何があっても現場に駆けつける覚悟を持って仕事に取り組んでいる林さんですが、もともと宮崎大学農学部水産学科出身と、マスコミとは関係のない道を進んでいたそうです。ところが在学中に「水産関係の仕事に就くのは何か違う」と気づいてしまった林さん。大学で得



にスツと入れ

「宮日」の愛称で親しまれ、宮崎県で最も購読されている新聞「宮崎日日新聞」。ここに掲載されている、新富町の記事を書いているのが、新富支局長の林慎次（はやししんじ）さんです。新富支局に来て約2年、相手の懐



回っています。

「この町での出会いに力をもらっているから、楽しく仕事をできています。これからも、新富でいただいた恩を返せるような記事を書きたいですね」

が、本当にそのとおりでした」

声をかけてもらった取材へ向かう、飲み会でつながりを増やすなどして、すっかり新富に馴染んだ林さん。

「こんなに自分を受け入れてくれる地域が他にあるかなと思うほどで、今では、他の記者におすすめしたいくらい好き」だという新富を、今日も駆け

●新富町内の取材に関する情報、ご依頼がありましたらご連絡ください。 宮崎日日新聞新富支局 ☎33・0329